

# 流通ビジネス科

## ビジネスの潜在能力を開花させてみませんか？

流通ビジネス科では、ビジネスの専門的な知識「マーケティング」について学習し、具体的に売れる商品の情報収集や陳列方法、価格の決め方、また「いかにしてモノをたくさん売るか」という販売戦略などを学び、消費者ニーズを的確にとらえる力を3年間で身に付けます。さらに、パソコンを活用したプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を伸ばすことにより自分の考えたアイデアや企画を発表できる力を身に付けて、即戦力として実社会で活躍できる人材を育成します。

販売やサービス等のビジネス活動に興味・関心がある人、また流通に関する高度な資格を取得し、企業経営に積極的に参加しようとする意欲のある人は、ぜひチャレンジしてみませんか？



### 流通ビジネス科

マーケティングを中心に、簿記や情報処理について学習し、ビジネスリーダーおよびメーカーとして活躍する人材、ビジネスのプロとして会社経営者、中小企業診断士、経営コンサルタントなどをを目指す人材を育成します。



### 販売実習



3年生では、校外で販売実習を行います。1・2年で学習したことを活用して、クラスごとに販売する商品を決め、仕入先を探して価格を交渉し、POP広告の作成、商品陳列、販売を行います。自分たちで計画したことを実現させる難しさ楽しさ、嬉しさを体感することができます。

### 卒業生の声

流通ビジネス科卒  
滋賀大学 経済学部卒  
大垣共立銀行  
梶原康直



今、私は高校時代に学んだ知識や経験が、社会人としての土台となっていると実感しています。

銀行に入行し、しばらくの間は、銀行業務よりも挨拶・言葉遣い・身だしなみなど、社会人として必要なビジネスマナーについての研修がほとんどでした。しかし、研修内容のおおよそは高校時代に授業や日常生活で身に付けていたものばかりだったのです。

それだけではなく、流通ビジネス科では幅広いビジネスの基礎を学ぶことができ、販売実習やプレゼンテーションなどの実践的な内容の授業も豊富にあります。そのため、自ら経験し楽しみながらマーケティングやビジネスについて学ぶことができ、社会人として活躍するための準備をすることが出来るのです。

今思えば流通ビジネス科で学んだことは、すべての人生の役に立つ内容ばかりでした。高校3年間でマーケティングやビジネスについて、これだけの濃い授業を受けられるのは、流通ビジネス科しかないと思います。社会で即戦力になりたい方、ビジネスリーダーを目指したい方は、是非、流通ビジネス科で自分の可能性にチャレンジし、最高の高校生活を過ごしてください。

# 会計システム科

## ビジネスのコミュニケーションツール(言語)である「会計」を学ぼう！



ビジネスでは、「会計」を通じて企業と会話をします。「この会社は商売の相手として信用できるのか」「この会社の株を買った方が良いのか」といった判断は、「決算書(財務諸表)」をもとに行います。「決算書」を作成する技術を「簿記」、活用する技術を「会計」といいます。私たちが会話をするために日本語や英語が必要であるようにビジネスを行う上で「会計」の知識・技術を身に付けておくことは大変重要です。会計システム科では、「簿記」・「会計」・「経営」の知識・技術を身に付け、会計・経営のスペシャリストとして企業で即戦力として活躍できる人材を育成します。

簿記会計や金融に興味がある人、また簿記会計分野に関する高度な資格取得を目指す意欲のある人は、ぜひチャレンジしてみませんか？



### ファイナンシャル会計類型

簿記、情報処理などの商業の学習に加え、日商簿記検定1級の学習に多くの時間を充てて、企業の財務・経理や金融のスペシャリスト、公認会計士や税理士など職業会計人、経営のプロとして活躍できる人材を育成します。また、英語に多くの時間を充てグローバル化に対応しています。

### マネジメント会計類型

商業の基本である簿記や情報処理などの力が身に付くよう、多くの授業を充てるとともに、部活動とも両立できるよう授業の編成にも工夫がなされています。また、経済事情に関する学習も取り入れ、社会で即戦力として活躍できる人材を育成します。

### (株)GIFUSHO業務で活躍!



会計システム科では資格取得だけでなく、(株)GIFUSHO業務にも力を入れています。マネジメント会計類型は体操服や岐商グッズを校内で

販売する「学内販売事業部」、ファイナンシャル会計類型は会社の財務経理を一手に担う「財務経理事業部」を担当し、業績アップに貢献しています。



### 卒業生の声

会計システム科卒  
有限責任監査法人  
トーマツ名古屋事務所勤務  
高橋 郁重



私は高校で初めて簿記に触れ、会社の日々の活動や現在の業績を記録、表現するということに興味を持ち、公認会計士を目指しました。そして、大学在学中に公認会計士試験に合格し、現在は監査法人で主に上場会社の監査業務に携わっています。

監査とは、会社が作成した「財務諸表」が、正しく表現されているのかどうかを、会計の知識を活かして第三者として判断し、「監査報告書」という書類において適正か否かを意見する仕事です。これは公認会計士のみ行うことのできる業務です。そして、私は監査を通じて、様々な業種の会社に携

われることに、仕事のやりがいを感じています。私はこれまでに、製造業や小売業、金融業、不動産業など、様々な業種での監査を経験しました。会計を中心に多種多様な業界で監査を行い、毎日がとても新鮮な気持ちです。また、それぞれの業界を理解するために、会計を軸に新たな専門知識を習得することに楽しさも感じています。今、監査法人でやりがいを得ながら仕事ができているのは、高校のときに学んだ簿記、会計学が原点にあると感じています。ビジネスの基礎である会計を学ぶことは、社会で生きる上で必ずみなさんの役に立つと思います。